

R3 年度地域課題への取組 報告書

提出日 令和 7 年 3 月 7 日 部会名・WG名 くらし部会

- ・行動障害の受け入れる事業所が少ない
行動障害及び行動障害と思われる事例について

取り組みだ内容・得られた結果	今後の方向性	方向性を出した理由
前年度からの引き継ぎもあり『行動障害』『行動障害と思われる支援困難事例』について、情報交換を行った。 『行動障害』『行動障害と思われる支援困難事例』に限らず、様々な課題があがってきた。 行動障害についても連携できる支援事業所が少ない事なども話題に上がる。環境設定の困難さ、人材の確保や育成、ライフステージごとの支援、支援者間での情報共有についてなど、別の課題とも連動して意見が出ている。	☐ 施策化 ☐ WG化 ☒ 終結	グループホーム入居者についての話が多かったが、その中で行動障害に限らず様々な支援が困難であるという話があがってきた。 『行動障害』に着目するのではなく、よりよい支援の在り方を考えていくことや、支援困難事例でも効果的な支援の方法を検討していくことが建設的な対応になる。 くらし部会で検討を止めるといことではなく、よりよい支援の在り方についてとして検討を進めることとし、行動支援に特化した話題としては扱わない方向で考えている。 行動障害の方を支援できる事業所が増えない事について、刺激を少なくする環境を作るための予算の不足、1対1で付き添えるスタッフの確保、スタッフの専門的な支援方法の習得、など迅速に解決が困難と思われる現状がある。

※提出先:長野市障害ふくしネット(協議会)事務局 長野市南部障害者相談支援センター メール:fnnet@hynet.sakura.ne.jp

